

第2回庭野平和賞奨励賞受賞者



ミンゾー (Mr. Myint Zaw)

国籍：ミャンマー

性別：男性

宗教：仏教

活動分野：環境と平和

※氏名について：ミャンマー人の名前には姓に相当するものはなく、ミンゾーの2音節が名（personal name）であるので、本財団での日本語表記においては、ミンとゾーの間に・を入れることなく、ミンゾーと表記する。

1. 贈呈理由

庭野平和賞奨励賞委員会は、第2回庭野平和賞奨励賞をミンゾー氏（ミャンマー）に贈呈することを決定しました。

ミンゾー氏はミャンマー北部のイラワディ川デルタで生まれました。このミャンマー最大の河川のもとで、彼は幼い頃から、自然環境と人間は如何に密接な相互関係で成り立っているかを、肌身をもって経験しながら生活してきました。

しかしイラワディ川デルタでは2009年に国家主導のミッソングダム建設計画が始まりました。この建設計画は、自然環境の破壊、および流域の環境資源に依拠して暮らす人々の生活や文化の崩壊という代償を伴うものであり、これらの現実の間で深刻な葛藤と衝突が生じるようになりました。ミンゾー氏は、河川流域の住民自身やミャンマーの一般国民が、この問題に対する認識を高めることが大切だと考えました。イラワディ川沿いのコミュニティの生活の写真を撮っては、ダム建設が多くの流域住民に被害をもたらす事実を記事に書き続けました。同時に、アートギャラリーを利用し、アーティストや作家、詩人、ミュージシャン等と共同して、人々がダムの影響を視覚化できるよう、連続した美術展を開催しました。また、これらを説明した教育資料を作成し配布するなどし、問題への認識の深まりと、それに対する人々の意見や声を取り上げられる機会や場を作り出しました。

しだいにミッソングダム建設計画に対する懸念が多くの人たちに共有されるようになり、ついにはそのような人々の声が当時のテインセイン大統領にも届き、建設計画は中止されることになりました。ミンゾー氏は、ミッソングダムに関する取組みに留まらず、ミャンマーの自然環境の保全と民主主義に関する取組みを現在も続けています。規制の厳しい状況の中でも、ミンゾー氏は、自然環境と人間の間関係がいかに調和のとれたものであるべきかを、ユニーク且つ平和的な活動を展開することによってミャンマーの人々に訴え続けており、その活動は海外でも称賛されています。

対立や衝突が激しい中であって、大らかにすべてを包摂するイラワディ川のように、穏やかで平和的な彼の取組みは、庭野平和賞奨励賞が求める宗教的精神に基づく平和のための実践であると讃え、本賞を贈呈するものです。

2. 写真

(準備中)